

## 2023年度(令和5年度) 山行結果報告

行事	山行日		よみ 山名	山城 標高・難易度	参加人員			備考
	年	月			日	男	女	
第1回	令和5 2023	4	9(日) はちおうじじょうし〜ふじみだい 八王子城跡〜富士見台	奥多摩 550m 初級向	7	16	23	関東屈指と言われる北条氏照の築いた八王子城。1590年前田、上杉軍勢の前に落城したとの説明をボランティアガイドに受けて今日の目的地富士見台へ。急登のアップダウンがあり歩きごたえがありました。
第2回		4	25(火) ごぜんやま 御前山	奥多摩 1405m 一般向	6	12	18	奥多摩湖に映える新緑が美しい。お目当てのカタクリは余りにも少なく、却って見つけたときは歓声。下山の沢沿いルートは何年か前の大水で流されたまま、いまだ通行止めで車道を延々。
第3回		5	7(日) てんもくさん 天目山	奥多摩 1575m 一般向	0	0	0	雨天中止
第4回		5	20(土) くろふやま 黒斑山	信州の山 2404m 一般向	10	11	21	小雨の中出発。今回は珍しく男性の参加者が多い。車坂峠では雨こそ上がったものの視界はよくない。シャクナゲはまだ咲き始め。浅間山は雲の切れ間に望む。
第5回		6	4(日) ももくらさん 百蔵山	中央線沿線の山 1003m 一般向	6	16	22	名物猿橋を渡り長い長い車道歩きをして登山口へ。耳障りな春ゼミの声を聴きながら扇山分岐へ。適度な風で気持ちよく歩けたが、山頂での秀麗富士は望めなかった。
第6回		6	18(日) ねのごんげん・たけでら 子の権現・竹寺	奥武蔵 5640m 初級向	8	17	25	飯能駅からバスで小殿下車。小1時間で竹寺着、期待にたがわぬ竹林の美しさ。子の権現では茅の輪くぐりを通り大わらじや仁王像のパワー溢れる姿が印象に残る。暑い一日でした。
第7回		6	29(木)~7/1(土) もりよしやま/あきたこまがたけ 森吉山/秋田駒ヶ岳	東北の山 1454m/1637m 一般向	2	10	12	雨中の登山となる。森吉山はゴンドラに乗るときに降り出し終日雨。駒ヶ岳は降られはしなかったものの、強風にさらされ厳しい行軍、テングルマのムーミン谷が救いになった。
第8回		7	5(土) くろかわけいかんざん 黒川鶏冠山	奥秩父の山 716m 一般向	6	15	21	小殿バス停から杉林の急斜面を登り竹寺へ。美しい竹林を眺め茅の輪くぐり後昼食。アップダウンを繰り返して子の権現で巨大わらじに驚き見入り展望台へ。生憎眺望は今一つでした。
第9回		7	27(木)~29(土) せんじょうがたけ 仙丈ヶ岳	南アルプス 3033m 健脚向	2	7	9	広河原一北沢峠間不通で戸台から入る。初日こもれび荘泊。翌日は仙丈小屋まで。3日目山頂でほぼ快晴、素晴らしい景色を眺めることが出来た。小仙丈では標高1、2、3位をバックに
第10回		8	9(水)~10(木) のりくらだけ 乗鞍岳	北アルプス 3026m 初級向	1	14	15	初日上高地散策、乗鞍高原美鈴荘泊。二日目昼平駐車場着時は濃いガスの中。次第に雲は取れてきたが、強風に悩まされる。穂高連峰や御嶽山を眺めることが出来た。
第11回		8	26(土) きりがみね 霧ヶ峰	八ヶ岳周辺の山 1925m 一般向	7	14	21	八島湿原スタート。2班に分かれ物見岩を通り蝶々深山中で昼食、登山道わきにはナデシコ、ヤナギラン、ウメバチソウ、イカリソウなど高山植物の花々が迎えてくれる。
第12回		9	3(日) たいぼさつれい 大菩薩嶺	大菩薩の山 2057m 初級向	8	10	18	タクシーで福ちゃん荘へ入り唐松尾根をたどり山頂へ。富士山や南アルプスは雲の切れ間に見える程度でしたが、明るい日差しの中爽やかな秋の空気が胸いっぱい吸って歩きました。
第13回		9	19(火) めしもりやま 飯盛山	八ヶ岳周辺の山 1643m 初級向	7	12	19	登山口平沢峠の目の前は八ヶ岳。生憎雲に隠れていましたが最高の眺めです。林の中を1時間少々歩くと大盛山、少し前まで沢山の花が山頂の周りを覆っていたとの事。
第14回		10	1(日)~3(火) ひうちがたけ〜しぶつさん 燧ヶ岳〜至仏山	東北の山 2356m/2228m 健脚向	1	9	10	10/2燧ヶ岳登山は登りも下りも泥んこの道。足元に注意を払う。山頂は強風ながら日差しあり。10/3は快晴で尾瀬ヶ原は最高の眺め。至仏登頂組と鳩待峠行き組に分かれ出発。
第15回		10	15(日) みつとうげやま 三ッ峠山 市民体験登山	三ッ峠周辺の山 1785m	0	0	0	三ッ峠山の山行計画が下山時刻遅くなりそうと判断し陣馬山に変更。申込者が14名から5名に減少。しかし、雨天により中止となる。
第16回		11	5(日) いしわりやま 石割山	富士五湖周辺の山 1413m 初級向	7	11	18	石割神社の参道403段を登り進むと桂の巨木、さらに進むと割れ目の入った巨岩と共に石割神社。石割山の山頂で杵子山を望み大平山への気持ちの良い稜線歩き、富士山は雲の中。
第17回		11	18(土) ほうきょうさん 宝篋山	東関東の山 461m 初級向	5	13	18	宝篋山は筑波山と共につくば市民のいこいの山か。登山口の駐車場は満杯、登りながら多くの人たちに出会いました。山頂は広々、日光連山や霞ヶ浦を眺めながら昼食をとりました。
第18回		12	3(日) たかとりやま〜こうぼうやま 高取山〜弘法山	丹沢周辺の山 556m/235m	7	9	16	高取山の山頂はうっそうとした林の中、次のピーク弘法山からは相模湾、江ノ島、などが見渡せました。ここにはハイカー大勢、この先の展望台までの桜並木が春は最高とか。
第19回		12	16(土) いずがたけ 伊豆ヶ岳	奥武蔵 851m 初級向	7	14	21	正丸駅を出て斜めの急な階段を下る。車道をしばらく歩き峠のレストランを過ぎると明るい自然林の登山道へ入る。通行禁止の岩場を横目に急坂を登ると岩稜の山頂。暖かい登山
第20回	令和6 2024	1	14(日) ながとろあるぶす 長瀨アルプス(宝登山)	奥秩父の山 497m 初級向	4	12	16	片道3時間の長旅をものともせず快調に歩き、予定よりもかなり早く山頂到着。ここからは奥多摩の山々〜両神山までのパノラマ。南面にはロウバイが咲き誇っていました。
第21回		2	3(土) しろやま 城山	箱根の山 563m 初級向	3	14	17	幕山公園の梅は二分咲き。日差しの無い登山道をしばらく歩くと頼朝伝説の「しとどの窟」。小1時間歩き土肥城跡と記された大きな石碑のある城山山頂に到着。大島、飛鳥を眺望。
第22回		3	3(日) たかまつやま 高松山	丹沢周辺の山 801m 一般向	4	16	20	高松山山頂からは江の島や相模湾を望め最高の眺望でした。松田山ハーブガーデンのカズズクラは散り始めていましたが葉の花とのコントラストが素晴らしかった。外国人観光客多々。
第23回		3	24(日) せんげんやま〜らんざんけいこく 仙元山〜嵐山溪谷	奥武蔵 299m 一般向	3	12	15	二つの山城を辿る登山でした。城跡は木々に覆われて森になり廊などの説明板があるのみ。アップダウンが何度も続き、街中歩きも入れると30000歩を数えました。
					111	264	375	

参加人員集計 男性111名 女性 264名 合計参加数 375名

会員外 男性2名 女性5名 計7名を含む(会員参加数333名)

※ 参加総人数は実施回数21回375名。

集計・制作 岸波氏